



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月7日

上場会社名 藤倉ゴム工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5121 URL <http://www.fujikurarubber.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中 光好
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 神山 幸一 TEL 03-3527-8111
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	7,115	1.0	406	3.6	412	△8.9	244	△87.4
26年3月期第1四半期	7,046	6.2	392	801.1	453	874.6	1,932	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △5百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 2,326百万円 (556.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	10.43	—
26年3月期第1四半期	98.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	29,559	20,823	70.4
26年3月期	31,685	20,804	65.7

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 20,823百万円 26年3月期 20,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	0.5	600	△0.3	500	△29.3	350	△86.3	14.96
通期	30,000	2.7	1,500	16.9	1,400	△22.7	1,000	△68.9	42.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	23,446,209株	26年3月期	23,446,209株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	48,866株	26年3月期	48,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	23,397,343株	26年3月期1Q	19,659,952株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がありましたものの、雇用情勢や設備投資などが底堅く推移し、依然として緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）では、平成26年6月にアウトドア用品を販売しております連結子会社 株式会社キャラバン（東京都豊島区）の新社屋が、さらに同月に連結子会社 FUJIKURA COMPOSITES HAIPHON, Inc.（ベトナム・ハイフォン市）において第二工場がそれぞれ竣工し、現在は稼働しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は71億1千5百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は4億6百万円（前年同四半期比3.6%増）、経常利益は4億1千2百万円（前年同四半期比8.9%減）、四半期純利益は2億4千4百万円（前年同四半期比87.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①産業用資材

主力の工業用品部門は、前年度に引続き国内外において自動車関連製品の受注が好調に推移したことに加え、住宅関連製品の受注が堅調だったため増収増益となりました。制御機器部門は、液晶・半導体関連製品については堅調だったものの、医療品分野については客先の生産調整により受注が減少したため減収減益となりました。電気材料部門は、電子関連製品の受注が減少したため減収減益となりました。

この結果、売上高は43億1千5百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は2億4千万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

②引布加工品

引布部門は、電気・電子関連製品及び一部の自動車関連製品の受注が堅調だったため前期に比べほぼ変わらない売上となりましたものの、国内の電子関連市場が低迷したため僅かながら減益となりました。印刷機材部門は、国内において新聞市場の受注が増加したものの、海外販社で在庫調整があり輸出が減少したため減収減益となりました。加工品部門は、国内において舶用品関連製品の受注が好調だったものの、産業資材分野が低迷したため減収減益となりました。

この結果、売上高は10億8千5百万円（前年同四半期比10.1%減）、営業利益は6千8百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

③スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、昨年発売した『Motore Speeder』のプロツアーでの使用率が伸びたこと、また3月発売の超軽量『Air Speeder』が予想を上回る販売となり、多くのお客様からの人気好調に推移したため増収増益となりました。アウトドア用品部門は、前年度に引続きシューズ関連商品の売上が好調だったため増収となりましたものの、収益については前期に比べほぼ変わらない結果となりました。

この結果、売上高は15億8千5百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は1億8千8百万円（前年同四半期比29.4%増）となりました。

④その他

物流部門は、荷動きが低迷したため減収となったものの、経費削減に努めたため増益となりました。

この結果、売上高は1億2千9百万円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は1千5百万円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較し、20億8千6百万円減少の295億9千9百万円となりました。また、負債合計は前連結会計年度末と比較し、21億5百万円減少の87億7千5百万円となりました。純資産は208億2千3百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の65.7%から70.4%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が256,625千円減少し、利益剰余金が165,831千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,525,494	4,098,267
受取手形及び売掛金	8,066,096	8,071,773
有価証券	702,080	200,114
商品及び製品	1,932,393	2,285,496
仕掛品	1,989,474	2,064,550
原材料及び貯蔵品	556,926	517,174
その他	1,206,708	860,211
貸倒引当金	△22,312	△23,301
流動資産合計	19,956,860	18,074,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,139,791	3,385,754
機械装置及び運搬具（純額）	2,367,300	2,234,261
土地	3,179,193	3,178,165
建設仮勘定	544,001	318,754
その他（純額）	287,472	263,554
有形固定資産合計	9,517,758	9,380,490
無形固定資産		
ソフトウェア	29,455	26,390
その他	183,284	203,542
無形固定資産合計	212,739	229,932
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,048,546	1,964,602
貸倒引当金	△50,201	△50,143
投資その他の資産合計	1,998,345	1,914,458
固定資産合計	11,728,844	11,524,881
資産合計	31,685,704	29,599,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,637,389	2,231,033
短期借入金	3,732,803	3,137,960
未払法人税等	690,290	90,294
賞与引当金	349,157	103,565
その他	953,744	1,050,223
流動負債合計	8,363,384	6,613,077
固定負債		
長期借入金	655,584	513,920
環境対策引当金	42,467	42,467
退職給付に係る負債	1,295,715	1,017,470
資産除去債務	20,800	20,800
その他	503,569	567,796
固定負債合計	2,518,135	2,162,454
負債合計	10,881,519	8,775,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	12,898,705	13,168,161
自己株式	△20,084	△20,084
株主資本合計	19,895,404	20,164,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287,037	247,009
繰延ヘッジ損益	2,837	858
為替換算調整勘定	903,017	673,496
退職給付に係る調整累計額	△284,112	△262,588
その他の包括利益累計額合計	908,780	658,775
純資産合計	20,804,184	20,823,636
負債純資産合計	31,685,704	29,599,168

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	7,046,965	7,115,586
売上原価	5,472,874	5,351,443
売上総利益	1,574,090	1,764,142
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	98,163	95,981
給料及び手当	418,449	440,329
賞与引当金繰入額	24,990	32,065
退職給付費用	24,742	28,198
減価償却費	27,227	28,063
研究開発費	100,248	145,514
その他	487,800	587,323
販売費及び一般管理費合計	1,181,623	1,357,476
営業利益	392,467	406,666
営業外収益		
受取利息	2,116	6,020
受取配当金	14,780	16,065
受取賃貸料	6,137	6,248
為替差益	92,973	-
その他	30,689	30,927
営業外収益合計	146,697	59,261
営業外費用		
支払利息	7,309	5,270
為替差損	-	22,228
有価証券評価損	52,500	-
賃貸収入原価	2,459	2,363
その他	23,773	23,136
営業外費用合計	86,042	52,998
経常利益	453,122	412,929
特別利益		
受取補償金	2,502,940	-
特別利益合計	2,502,940	-
税金等調整前四半期純利益	2,956,062	412,929
法人税、住民税及び事業税	235,160	83,809
法人税等調整額	788,814	85,111
法人税等合計	1,023,974	168,920
少数株主損益調整前四半期純利益	1,932,087	244,008
四半期純利益	1,932,087	244,008

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,932,087	244,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,051	△40,027
繰延ヘッジ損益	△858	△1,979
為替換算調整勘定	339,357	△229,521
退職給付に係る調整額	—	21,524
その他の包括利益合計	394,550	△250,004
四半期包括利益	2,326,638	△5,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,326,638	△5,995

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布 加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	4,130,061	1,206,771	1,567,030	143,101	7,046,965	—	7,046,965
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	32,226	32,226	△32,226	—
計	4,130,061	1,206,771	1,567,030	175,327	7,079,191	△32,226	7,046,965
セグメント利益	211,818	117,232	145,783	13,529	488,363	△95,895	392,467

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去108千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△96,003千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布 加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	4,315,384	1,085,026	1,585,303	129,871	7,115,586	—	7,115,586
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	30,918	30,918	△30,918	—
計	4,315,384	1,085,026	1,585,303	160,790	7,146,504	△30,918	7,115,586
セグメント利益	240,099	68,372	188,631	15,863	512,966	△106,299	406,666

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去40千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△106,340千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。